

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 本校の教育課程(単位制)に満足している生徒が80%以上である。	・新教育課程の検討と作成、アンケート(生徒・保護者)の実施	A	A	新学習指導要領に基づいて、魅力ある新教育課程の完成を目指す。	A	A	新教育課程は、今後の大学入試の動向等を見極めながら確定していく。
		② 本校の教育活動(学校行事、部活動、生徒会活動等)に満足している生徒が80%以上である。	・アンケート等を通じた生徒ニーズの把握・分析、適正な部活動の推進、学校行事・生徒会行事の充実	B	B	感染症防止対策と教育活動の取組を両立させるため、今後の諸活動の実施方法を工夫する。	A	A	2学期以降、学校の教育活動は軌道に乗ってきた。今後も感染症防止対策との両立に努めていく。
		③ 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が80%以上である。	・面談等を通じた生徒ひとりひとりの抱える問題の把握、組織的な対応、きめ細やかな指導の推進	A	A	面談等の充実により生徒個々の実態把握に努めるとともに、組織的できめ細やかな指導を充実する。	A	A	全職員参加の下で、本校の教育目標を具現化するための「グランドデザイン」の作成作業を進めている。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① 本校の授業に満足している生徒が80%以上である。	・生徒の実態や反応等を意識した授業実践	B	A	年度末までに授業の遅れを取り戻す。また、オンライン授業等についても段階的に準備する。	B	A	I C T機器等を活用したオンライン学習の試行を推進するとともに、先進的な授業実践の工夫に取り組む。
		② 習熟度別授業(数学・英語)がわかりやすいと感じている生徒が80%以上である。	・生徒ひとりひとりの到達度の把握、適正なクラス編成	A	A	生徒の学力を細かく分析し、個々の達成度に応じた授業を展開する。	A	A	生徒一人ひとりの学力を詳細に把握し、毎時間の授業実践に反映させる。
		③ 「総合的な探究(学習)の時間」に、主体的に取り組んだと自己評価している生徒が80%以上である。	・事前事後のきめ細かな指導、ガイダンスセンターの機能充実 ・探究的な学習活動の推進	B	B	感染症防止対策による休校の延長により、計画的な取組ができなかったが、今後取り戻していく。	A	A	テーマ研究では、外部の専門機関(N P O)との連携の下で、より効果的な活動を支援していく。
3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	① 主体的に学んでいると感じている生徒が70%以上である。	・I C Tの活用や授業形態、課題の工夫等による授業改善	B	A	感染症防止のための制限の範囲内で、可能な授業改善を工夫する。	B	A	主体的・対話的で深い学びの実践と、感染症予防対策を両立させる。
		② 基礎学力が身についたと感じている生徒が80%以上である。	・身につけさせるべき学力の明確化 ・スタディサプリの活用	B	B	学習のねらいの明確化や、スタディサプリの積極的活用を促す。	B	B	本校の先進的なスタディサプリの活用を、より一層推進する。
		③ 家庭での1日あたりの平均学習時間が2時間以上の生徒が50%、1時間30分以上の生徒が70%以上である。	・継続的・計画的な課題設定、学習習慣の定着、デジタルサービスの利用	C	C	適切な家庭学習課題を課すとともに、進路目標の早期の明確化により学習意欲の向上を図る。	C	C	面談等をとおして、生徒一人ひとりの学習に対する動機付けを行うことにより、学習習慣の定着を図る。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	① 職員会議や年次会議等において、生徒に関する情報交換を月に2回以上行っている。	・教育相談係会議、各年次会議、運営委員会、職員会議等で情報交換	A	—	生徒情報の取扱いには十分配慮のうち、一層の共有を進める。	A	—	生徒情報を共有することにより、より組織的な指導の実現を図る。
		② 朝のS H Rの開始時に、生徒の健康観察を日常的に行っている。	・職員朝会の時間短縮、朝の健康観察表、職員の業務改善、職員の共通理解	A	—	朝のS H Rにおける正・副担任による健康観察を、今後も継続する。	A	—	感染症拡大が終息するまでは、特に登校時の健康観察を厳重に行う。
		③ 校内の美化・安全点検を、月に1回実施している。	・全教職員による清掃指導、安全意識の徹底	A	—	月に1回の定期点検が形式的なものにならないよう十分留意する。	A	—	感染症予防に係るアルコール消毒等も含めた形で安全点検を実施する。
		④ いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	・家庭・関係機関との連携、教育相談体制の一層の充実	A	A	常に情報収集や生徒観察を怠らず、組織的な対応を徹底する。	B	B	いじめに係る全ての対応は、いじめ防止対策推進法に則って行う。
5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 欠席率が1.2%、遅刻率が0.6%以下である。	・家庭との連携強化、登校時玄関指導・スクールカウンセラーとの連携	B	B	生徒個々の事情把握により、背景となっている問題の解決を図る。	B	B	全体指導のみならず、生徒個々の諸事情に十分配慮した指導を行う。
		② 高校生らしい、規則正しい生活を送れていると思う生徒が90%以上である。	・家庭・関係機関との連携、教育相談体制の充実	A	A	今後も保護者等の理解や協力を得ながら、生徒への啓発を進める。	A	A	基本的生活習慣の確立が学校生活の根本であるとの共通認識をもつ。
		③ あいさつがきちんとできていると思う生徒の割合が80%以上である。	・登校時玄関指導、授業開始前指導 ・職員からの積極的な声かけ	A	A	学校生活全体をとおして、職員からの積極的な声掛けを行う。	A	A	あいさつが良好な人間関係構築のために不可欠であることを再確認する。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	① 生徒・保護者向け進路通信を月2回以上発行している。	・「ガイダンスセンター通信」等の定期的発行(年次別も発行)	B	B	保護者を巻き込み、親子で一緒に考える進路指導を目指す。	B	B	進路指導は、保護者との十分な共通理解の下で行うよう配慮する。
		② 学校からの進路に関する情報を、役立つと認識している生徒が80%以上である。	・S H R・L H R時の「ガイダンスセンター通信」の活用、P T A新聞・同窓会誌掲載の進路情報の紹介	A	B	変化の大きな大学入試の動向や感染症の影響など、不安を払拭するための情報を精選して提供する。	A	B	感染症拡大による生徒・保護者の不安を解消する観点からの情報提供に、今後も十分配慮する。
7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	① 「自己の生き方」と「将来の職業」を真剣に考え、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	・ガイダンスセンターの機能充実、二者面談・三者面談の充実、進路資料室の充実、面接週間、外部講師による講演会実施 ・年次別保護者会の充実、保護者向け講演会の充実	B	A	職員が最新の進路関係情報を共有するとともに、個別面談の機会を積極的に活用し、生徒や保護者が進路相談しやすい雰囲気づくりを行う。ガイダンスセンターの積極的な利用を促す。	B	A	感染症予防対策の影響により中止又は延期した進路関係行事については、今後の動向等を慎重に見極めながら、十分な配慮の下で順次再開していく。保護者の来校を伴う進路行事も再開に向けての可能性をさぐる。
		② P T A総会、年次別保護者会等に参加している保護者が80%以上である。	・P T A総会時の公開授業、学校説明会、講演会等	C	C	感染症防止のための来校制限により学校公開の設定は難しい。今後の動向を見極めながら工夫する。	B	B	中学生対象の学校見学会は、諸制限の下で実施することができた。その他の公開も実施の可能性を検討する。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	③ P T A新聞を年3回発行し、Webページを毎月更新している。	・P T A総会時の公開授業・学級懇談会、年次別懇談会等の工夫・充実 ・各分掌・部活動等からの情報収集、学校行事等の撮影・記録	—	—	P T A総会は中止したが、書面決議(回答率95%)を行った。	—	—	保護者の来校を伴う行事は実施できなかった。実施の在り方を検討する。
		① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会等を年3回実施している。	・社会人講師特別授業(1年)、卒業生による受験報告会(1・2年)、外部講師による模擬授業(2年)	A	A	情報提供の手段として、今後もWebページ等の充実を図る。	A	A	情報発信については、直接の人的接触を伴わない形態で充実させる。
		9 家庭、地域の教育力を活用していますか。	① 保護者や地域社会の人を講師とした講演会等を年3回実施している。	・P T A総会時の公開授業、学校説明会、講演会等	C	C	感染症防止の観点から、諸行事の実施方法を変更している。今後も可能な範囲での実施を工夫する。	B	B